

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマロータリーを学び、
ロータリーを広げよう高田ロータリークラブ
今年のスローガン利他の心をもって、
超我の奉仕を

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～2022年度

国際ロータリー会長 シェカール・メータ
 2560地区ガバナー 高尾 茂典
 高田ロータリー会長 中田 正
 幹事 箕輪 賢一

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
 TEL (025)526-3288 FAX (025)526-3534
 メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
 例会場：デュオ・セレッソ TEL (025)526-3111

広報・会報・雑誌委員会：
 星 則雄・西條英夫・猪股耐真男・鈴木陽一

第 34 回例会 4 月 15 日(金)

No.31

会長挨拶

●中田 正

皆様のご協力のおかげで中田年度も残り2ヶ月半となりました。

通常例会以外において、あと3つのメインイベントを残すのみとなりました。

最大のイベント、地区大会が今週日曜日に開催されます。新潟市の会場には大谷パストガバナー、私、箕輪幹事の3名だけでの参加となります。高田クラブのリモート会場の「宇喜世」には18名の会員の皆様からご登録頂きました。当日は雰囲気だけでも感じて頂ければと思います。

2つめのメインイベント越後トキメキ鉄道「雪月花」での移動例会が、来月5月22日(日)に職業奉仕委員会が中心となり行われます。

次年度は高田クラブから本山秀樹第7分区ガバナー補佐を輩出します。そしてIM(インターシティーミーティング)を高田クラブが主催します。第7分区の自然、食材の良さを「雪月花」を通して再認識し、第7分区のそれぞれのクラブとの一体感を深めるためにも、より多くの皆様に参加いただければと思います。

そして最後のメインイベント「ロータリー奉仕デー」が6月18日(土)に開催されます。

先日第7分区会長・幹事会が開催され、風間ガバナー補佐の提案もあり、第7分区のクラブと一緒に海岸清掃活動をする事になりました。詳細につきましては、後日橋詰社会奉仕委員長よりご案内いたしますが、より多くの皆様からのご参加をお願いいたします。

皆様をお願いするばかりでございすが、最後までご支援、ご協力お願い申し上げます。

本日の卓話は上越教育大学大学院生の川合由美子様よりお話し頂きます。

出席報告

98.08%

メイクアップ

高坂光一君(4/9地区財団委員会)
 大谷光夫君・石倉 悟君・本山秀樹君・高橋正彦君
 (4/12地区ゴルフ大会)

委員会報告

出席ニコニコBOX委員会：

橋本眞孝君 オークションに出席出来ずすみません。遅ればせながら、気持ちですが協力させていただきます。



職業奉仕委員会：
5/22 移動例会「雪月花」に
ついて（石黒孝良君）

会員インフォメーション



齋藤尚明君：
會津八一「獨往の書」の
ご案内

5月の例会プログラム

配布物：週報No.29・30、地区大会プログラム、
雪月花パンフ
回覧物：會津八一「獨往の書」チラシ
報告：4/16-17 地区大会について

幹事報告

例会日	プログラム	会場
5月6日	特定休会日	
5月13日	卓話者 高田 RAC 会長 坂田倫太郎君 演題 2021-22 年度活動報告	デュオ・セレッソ
5月20日	振替休会日	
5月22日	移動例会 <雪月花>	
5月27日	クラブ協議会 <地区研修・協議会 報告>	

卓話

ときどき古楽コンサート、そして雁木町家



上越教育大学大学院生 川合由美子様

4～14歳、高田に暮らす。東京での両親の死去を機に、2016年高田に移住。高校・大学は音楽を専攻、大学在学中より鍋島元子創設「古楽研究会 Origo et Practica」にてチェンバロを学び演奏・研究活動、後進の指導、研究会運営（2017年閉会）。2004年に古楽演奏会の企画・運営を行なう（有）想楽舎を立上げ経営（2016年終了）。2011年の日本チェンバロ協会素案から立上げ・運営・企画・事務に数年間携わる。

チェンバロを選んだ理由の一つに、高田での幼少時代の体験がある。漆喰塗り響きの良い古い大学講堂での定期演奏会でバロック作品がよく演奏されたのだ。いわば恩返しで、実力ある古楽器奏者を招く演奏会を高田で開催する為、古楽に相応しい響きの小さな演奏会場を探した。それが本町の旧第四銀行の建物であり2018年待望の貸館となる。早速「旧第四銀行で聴く古楽コンサート」を開催、2021年夏で7回を迎えた。2018年からは毎年上越美術協会展での演奏会などをサポート。 <https://sites.google.com/view/pak-dai4>

移住後に雁木町家再生の体験や町歩き等で知識を得、2018年隣家が空くと同時に購入し、翌年町家の原型に戻す改修を行なう。大学院入学の為3年遅れたが、本年「もと山静堂」と名付け、美術書や画集のライブラリー付の多目的な場として公開の予定である。

朝市や本町での買物や様々な楽しみも歩きとバスで用が足り、雪かきも設備が整い楽である。活動的でいられる高田の町に感謝。